

事務事業評価表(既存事業)

コード 6-6-2	事務事業名 健康づくりのつどい	所管部課 保健福祉部健康推進課					
事務事業の概要	事務事業の目的 地域住民が生涯にわたって健康管理のなかで「自分の健康は自分で守る」という自覚を高め、健康づくりに関する基礎知識の普及等健康づくりを推進するためのイベントとして実施する。		総合計画上の位置づけ (政策)笑顔で暮らすまちづくり (施策)健康づくりの推進 (主要施策)健康フェスティバルの充実				
	実施内容、実施方法 毎年10月の第一日曜日に、保谷保健福祉総合センターを中心に西東京市医師会、西東京市歯科医師会他13団体と市民の協力を得て、健康づくりに係る講座・講演会・薬の相談・骨密度測定他のイベントを実施している。		根拠法令等				
	事業開始時期	平成 13 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他(自主参加)			
評価指標の設定	活動指標名 チラシ配布数	活動指標の考え方(定義) 市民・市外の住民への周知(チラシ全戸配布)					
	成果指標名 参加者数	成果指標の考え方(定義) 健康づくりへの関心を高める					
事務事業データ			単位	14年度	15年度	16年度	17年度
	事業費(A)		千円	5,870	6,851	4,417	4,617
	国庫支出金						
	都支出金					2,208	2,308
	地方債						
	その他						
	一般財源			5,870	6,851	2,209	2,309
	所要人員(B)		人	0.66	0.66	0.66	0.66
	人件費(C)=平均給与×(B)		千円	5,442	5,460	5,496	5,496
	総コスト(D)=(A)+(C)		千円	11,312	12,311	9,913	10,113
	単位当たりコスト (E)=(D)/(参加者人数)		千円	38	21	17	
	歳入		千円				
	活動指標	目標値	部			84,500	86,200
		実績値	部	83,000	83,000	83,893	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	人			1,000	1,000	
	実績値	人	301	600	600		
成果指標	目標値						
	実績値						
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)		各コーナーとも参加された市民に、大変好評を得ている。特に、骨密度測定はご自身の健康状態を確認できて、栄養相談・体操等の指導も受けることが出来て、大変人気がある。				
	国・都・他市・民間等における類似事業		東京都25市においても同様なイベントを実施している。				
	運営上の制約条件・外部要因等						

コード 6-6-2	事務事業名 健康づくりのつどい	所管部課 保健福祉部健康推進課
--------------	--------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	参加者が年々増加傾向にある。 スタンプラリー用紙を679枚配布し、回収枚数が250枚で回収率37%であった。 参加頻度は、始めて参加した方が148名で、約60%を占めたが、2回目・3回目・4回目の参加者も大分増加傾向にある。感想も、大変良かったと良かったと答えた人が、205名、普通と答えた方が、13名で87%の方に満足して頂いている。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	早期発見・早期治療の二次予防から、疾病・介護を予防するための健康増進の一次予防が重要視されている。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	将来的には、市民主体・参加の実行委員会を設置し、市民主導型のイベントとし参加関係団体に支出している経費を徐々に削減する。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	参加者は増傾向ではあるが市総人口に比しては(0.6%)であり参加者が少ない。健康づくりのつどいのチラシを全戸配布した、市報・FM放送での呼びかけ、関係協力団体によるPRを行った。会場が、保谷保健福祉総合センターを中心に行っているため、田無地区の方は、交通の便が悪いため参加者が少ないと思われる。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	参加者数が少ないので、市で実施している他のイベントとの共同開催乃至は参加により広く健康増進を推進する。

17年度における改善点	・田無～保谷庁舎間の連絡バスを増便 ・話題となっている健康に関する事業の開催
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。